

第8回江別市行政審議会 議事録

日 時：令和5年7月18日（火） 午後6時～午後7時

場 所：江別市民会館3階37号室

出席者：明神委員、新田委員、井上委員、竹田委員、村瀬委員、岡委員、春日委員、鎌田委員、前田委員、清水委員、成田委員、西村委員、星委員、山崎委員、小野秀司委員、小野豊勝委員、本山委員 計17名

欠席者：工藤委員、町村委員、猪狩委員 計3名

事務局：白崎企画政策部長、伊藤企画政策部次長、水口参事（総合計画・総合戦略担当）、北島主査（総合計画・総合戦略担当）、眞鍋主査（総合計画・総合戦略担当）

傍聴者：2名

1 開会

（明神会長）

ただいまから、第8回江別市行政審議会を開会いたします。

なお、本日、工藤委員、町村委員、猪狩委員から欠席のご連絡を、新田副会長と鎌田委員が遅れるという旨の連絡を、それぞれいただいておりますので、ご報告いたします。

議事に入る前に、本日の審議会に傍聴希望者がいらっしゃいます。発言権はなく、傍聴のみということで入室を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、傍聴を許可いたします。傍聴者の入室をお願いします。

（傍聴者入室）

2 審議事項

（1）えべつ未来づくりビジョン＜第7次江別市総合計画＞の素案について

（明神会長）

それでは、議事に入ります。

次第2の審議事項、（1）えべつ未来づくりビジョン＜第7次江別市総合計画＞の素案についてを議題とします。

本件については、これまで、延べ11回にわたり審議を行ってまいりました。

前回の審議会では、「えべつ未来戦略」の具体的な内容についての審議を行い、各委員からご意見をいただきました。

本日は、意見を踏まえた検討結果のほか、全体的に見直しを行い、調整した点などについての説明を受け、審議してまいりたいと思います。

それでは、事務局から資料1から3までを、一括して説明願います。

（事務局）

えべつ未来づくりビジョン＜第7次江別市総合計画＞の素案について、ご説明申し上げます。

はじめに、資料1から3をお手元にご用意いただきたいと存じますが、資料1の「えべつまちづくり未来構想」と、資料2の「まちづくり政策」の内容につきましては、既に審

議済みであります。全体の整合を図るなどの見直しを行うこととしており、資料3の「えべつ未来戦略」につきましては、前回の審議で、ご意見を頂戴いたしましたことから、持ち帰り、内部で検討することとしていたところであります。

それでは、順に説明してまいります。はじめに、資料1の「えべつまちづくり未来構想」をご覧ください。

5月に開催された第6回の審議会において、猪狩委員からの、分かりやすい表現に努めることについてのご意見を受け、改めて全体を見直して文言や文脈のチェックを行い、体裁を整えるなどの調整を行いました。

主な変更点であります。11ページをご覧ください。

(1)人口減少対策の【背景】の項目中、最後の段落の出生数に関する記載であります。先月、国から出生数の概数が発表されたことから、当初、80万人を下回るとしていた記載を、77万人に改めたものであります。

次に、19ページをご覧ください。

「4 まちづくり政策一覧」であります。表の見出しの右側にある取組の基本方針であります。括弧書き数字と丸囲い数字の見出しの違いを明らかにするため、括弧書き数字を取組の基本方針、丸囲い数字を具体的施策として記載することといたしました。

次に、ページを戻りまして、15ページと16ページをご覧ください。

前回、工藤委員からいただいた「めぎすまの姿」におけるまちづくりの基本理念と将来都市像の順序について、将来都市像を先に見せたほうが分かりやすいのではないかのご意見であります。持ち帰り検討した結果、前回、井上委員からもご発言いただいたとおり、市民意見をもとに、全庁的な検討のもと、ボトムアップで「まちづくりの基本理念」を創り作り上げ、そして、「将来都市像」を創り上げた経過があることから、順序の変更は行わないことといたしました。

次に、資料2をご覧ください。

こちらは、これまでの審議会でも、既にご確認いただいているまちづくり政策の詳細に関する資料であります。15ページをお開き願います。

6の(2)子どもの教育の充実の、①教育内容の充実に関して、工藤委員から、「教育内容」を「教育環境」に変更してはどうかのご意見があり、内部で検討した結果、④には、既に教育環境の充実として、学校施設・設備の整備・充実に関する項目を設けており、同一の文言にはできないことから、①の見出しの変更についても検討いたしましたが、結果、変更は行わずに、教育内容の充実とすることといたしました。

次に、資料3をご覧ください。

こちらは、前回ご審議いただいた「えべつ未来戦略」であります。ご指摘いただいた箇所は異なっていたものの、会議後に全てのご指摘を改めて確認した結果、総合計画における「えべつ未来戦略」の位置づけや、もう一つの柱である「えべつまちづくり未来構想」との関係性が見えにくいことによるご意見と受け止め、表現や記載を見直し、工夫を講ずることとしたものであります。

ページを1枚おめくり願います。

はじめに、見開きページにおいて、総合計画の構成イメージを掲載し、総合計画の2本柱である「えべつまちづくり未来構想」と、「えべつ未来戦略」の関係を示すことといたしました。

また、これに関して、10ページをご覧ください。

こちらのページが説明しやすい見開きとなっているため、こちらでご説明いたします。 「えべつ未来戦略」とは、まちの魅力を高めながら、課題の解決につながるテーマを掲げ、これを実現するための手立てについては、新たに設定するのではなく、もう1本の大きな柱である「えべつまちづくり未来構想」で定めるまちづくり政策の94項目に及ぶ具体的施策の中から選択して、重点的・集中的に取り組むこととしております。

こちらは、冊子冒頭の見開きページの構成イメージと関連しますが、総合計画の2本柱

の関係性を明確に示す必要があると考えたことから、各戦略の実現の手立てである具体的施策を示す前段で、今ほどの説明を加えることといたしました。

以上が、「えべつ未来戦略」を分かりやすく示すために講じた工夫であります。

次に、4ページにお戻り願います。

前回、成田委員から、協働のパートナーに関して、NPOを明記することはできないかとのご意見があり、持ち帰り、担当部局に相談して検討した結果、この総合計画で記載している複数の協働のパートナーの記載については、全て、「市民、自治会、NPO、ボランティア・市民活動団体、企業、大学」に統一することとし、NPOを明記することといたしました。

したがいまして、最終ページである17ページのほか、資料2の「まちづくり政策」においても同様の変更を加えることといたしました。

次に、9ページにお戻り願います。

戦略2に関して、明神会長から、(2)戦略実現に向けた施策の方向性には、食生活の改善に関する記載があるが、(1)背景と戦略の概要には、食生活に関する記載がないことから、関連性を持たせた記載にすることについてのご意見があり、担当部局に相談し、内部で検討した結果、最後の段落に、食生活の改善について記載することといたしました。

最後に、17ページをご覧ください。

「第4 推進機能」に関して、工藤委員から、情報発信、ICT化の、「情報発信」について、「情報発信・共有」に変更してはどうかのご意見があり、内部で検討した結果、これまでの市民参加で得られた意見では、江別市の強みや良い取組がたくさんあるものの、情報発信が足りずに市民に伝わり切っていないことがあるとのご指摘をお受けしたことから、この点にしっかりと取り組むことについて分かりやすく表現するという観点から、変更せずに進めることといたしました。

以上、資料1から資料3までの主な変更・修正点についてご説明申し上げましたが、これまで、各委員からいただいたご意見であります、分かりやすい表現に努めながら、今後も引き続き、策定作業を進めてまいりたいと思います。

なお、工藤委員からいただいたご意見に関する検討結果については、事前に工藤委員にご説明申し上げ、ご理解いただいていることを申し添えます。

説明は、以上でございます。

(明神会長)

事務局から説明いただきましたが、委員の皆様から、質問や意見はございますか。

(なし)

それでは、えべつ未来づくりビジョン<第7次江別市総合計画>の素案の審議を終えたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(了承)

なお、今後も状況の変化や文言の見直しなどによって、一部変更が必要となる箇所が出てくるかもしれませんので、柔軟な対応をお願いしたいと思います。

それでは、以上で、えべつ未来づくりビジョン<第7次江別市総合計画>の素案についての審議を終えることといたします。

3 協議事項

(1) 答申書の案について

(明神会長)

次に、次第3の協議事項、(1) 答申書の案についてを議題とします。

答申書の案については、前回の審議会でも協議いただいております、「えべつまちづくり未来構想」に関する答申については、ご確認いただいております。

また、前回審議した「えべつ未来戦略」に関して、答申書に付すべき意見の案の作成については、正副会長にご一任いただいております。

その結果を取りまとめましたので、事務局から説明願います。

(事務局)

私から、答申書の案について、ご説明申し上げます。

資料4をご覧ください。

今回、お示しする答申書の案につきましては、前回の審議会でもいただいたご意見を反映するとともに、「えべつ未来戦略」に関するご意見を加え、正副会長と調整した最終案となります。

まず、前回お示した案からの変更点について、ご説明いたします。

ページを2枚、おめくりください。

「第2 各論(まちづくり政策)」のナンバー5、「商工業の振興」に関する意見であります。前回の審議会において、明神会長から、「大学・研究機関との連携」は、企業誘致だけでなく、商工業全般に新たな価値を創り出すことに生かされるべきであるとのご意見から、答申に付す意見に、一部変更を加えております。

次に、「えべつ未来戦略」に関する各論として付す意見について、ご説明いたします。

ページを2枚、おめくりください。

「第3 各論(えべつ未来戦略)」であります。こちらにつきましては、前回、審議いただいた内容を整理し、正副会長にご相談の上で取りまとめたものでございます。

まず、ナンバー1であります。こちらは、第6回の審議会において、小野秀司委員からいただいたご意見から、答申に付す意見としてまとめたものでございます。

ご意見の趣旨としましては、「えべつ未来戦略」は、様々な分野があり、コンパクトにうまくまとめていると思う一方で、人にも企業にも選ばれるまちになるためには、他の自治体との違いを出していかなければならないというものでございました。

そこで、答申に付す意見としましては、記載のとおり、「えべつ未来戦略」を構成する五つの戦略は、いずれも将来都市像である「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現につながる重要なものであるため、戦略の実践に当たっては、実効性のあるものとなるよう、他自治体にはない江別市ならではの特色や優位性を生かしながら、積極的な取組を検討されたいとまとめております。

次に、ナンバー2であります。こちらは、第7回の審議会において、明神会長、町村委員、小野秀司委員からいただいたご意見から、答申に付す意見としてまとめたものでございます。

ご意見の趣旨としましては、各戦略で掲げる「数値目標」について、市民アンケート調査などで指標を取得するに当たっては、設問内容は具体的でかつ、自分事ととらえられるようなものとしてほしい。

また、中間指標として示すKPIの設定に際しては、戦略の数値目標の達成や、将来都市像の実現につながるものを設定してほしいというものでございました。

そこで、答申に付す意見としましては、記載のとおり、五つの戦略で掲げる「数値目標」について、達成度を測る指標値を市民アンケート調査で把握する場合、分かりやすく、か

つ、自分事としてとらえることができる設問項目の設定に努めるほか、具体的施策ごとに設定する指標については、戦略の数値目標を達成し、ひいては、将来都市像の実現につながる指標を設定されたいとまとめております。

最後に、ナンバー3であります。こちらは、第6回の審議会において、本山委員からいただいたご意見から、答申に付す意見としてまとめたものでございます。

ご意見の趣旨としましては、これからの人口減少対策として、卒業と同時にその多くが転出してしまう大学生に対して、卒業後の定住につながる支援を検討するほか、定住に至らなくても、「関係人口」として長く江別市と関係し続けてくれることで、江別市を第二のふるさととしてとらえてもらう取組を進めてほしいというものでございました。

そこで、答申に付す意見としましては、記載のとおり、五つの戦略を実践するに当たっては、地域住民をはじめ、市内で働く方や活動する方、また、大学生や高校生など、様々な方とのつながりを強め、協働を基盤として取り組むとともに、これからの人口減少対策として、今後は市内外問わず、多様な形で江別市と関わりを保ち続けられる取組を進められたいとまとめております。

説明は、以上でございます。

(明神会長)

ただいま、事務局から「えべつ未来戦略」に関する意見を盛り込んだ、答申書の最終案をご説明いただきましたが、委員の皆様から、確認などはございますか。

(なし)

それでは、答申書については案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(了承)

以上で、答申書の案についての協議を終えることといたします。

また、この答申書の案の確認をもって、審議会での全ての審議を終えることとなります。

委員の皆様におかれましては、延べ12回にわたり、熱心な議論をいただきましたことに心からお礼申し上げます。

なお、市長に対する答申書の手交については、前回の審議会でも協議いたしましたとおり、私と新田副会長で行いますので、よろしくお願いいたします。

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて

(明神会長)

次に、次第4のその他、(1)今後の策定スケジュールについてを議題といたします。事務局から説明願います。

(事務局)

はじめに、本日、第7次江別市総合計画の素案と、審議会から市長に提出いただき、答申書の最終案をご確認いただき、会長から全ての審議を終える旨のお話をいただきました。

正副会長をはじめ、委員の皆様には、延べ12回にわたってご審議いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

それでは、今後のスケジュールについてご案内申し上げます。

先ほど、明神会長からも触れていただきましたとおり、7月21日の金曜日に、正副会長から、市長に対して答申書を手交いただく予定でございます。

この、審議会からの答申をもって、第7次江別市総合計画の素案を固めることを予定し

ております。

その後、素案に対して、広く市民の皆様のご意見をいただくため、8月1日からの1か月間、パブリックコメントを行うとともに、8月5日の土曜日には、市民の皆様へ素案の内容を直接お伝えするため、市民説明会を開催する予定でございます。

なお、市民説明会の詳細については、後ほどご説明いたします。

次に、パブリックコメントを経て、「第7次総合計画」の素案に必要な調整を加え、成案を作成いたしますが、素案の内容について調整を加えた際には、成案について、皆様にご報告いたします。

また、成案は、江別市議会に議案として提出し、審査を受け、議決をいただくことで、総合計画が確定し、令和6年4月から、新たな総合計画によるまちづくりがスタートするという運びとなります。

説明は、以上でございます。

(明神会長)

ただいま、事務局から、今後の策定スケジュールについてご説明いただきましたが、各委員から質問などはございますか。

(なし)

(2) 市民説明会について

次に、(2) 市民説明会についてを議題といたします。事務局から説明願います。

(事務局)

市民説明会について、ご説明いたします。

ただいま、市民説明会のチラシを配付し、説明したいと思っております。

(市民説明会のチラシを配付)

前回ご説明したとおり、市民説明会は、8月5日の土曜日、午後1時30分から、江別市民会館小ホールで開催いたします。

説明会の構成であります。第1部では、えべつ未来づくりビジョンの素案の説明を行い、第2部では「幸せが未来へつづくまちを目指して」と題して、パネルディスカッションを行います。

このパネリストであります。市長及び正副会長と相談の上、明神会長、新田副会長、小野秀司委員、本山委員にお声がけし、ご快諾いただいたところでございます。

土曜日の開催でございますが、皆様におかれましても、お時間がありましたら、ご参加のほど、よろしく願います。

また、計画素案を、より多くの市民の皆様にご覧いただくために、紹介動画を作成して、YouTubeで配信するほか、広報えべつや、市の公式LINEなどでも、総合計画に関する情報発信を行いたいと考えております。

本日、紹介動画の案をお持ちしておりますので、皆様にもご覧いただきたいと思っております。

動画は、約6分の内容となっております。

それでは、スクリーンをご覧ください。

(動画を放映)

この動画は、市民説明会の冒頭で放映するほか、様々な説明の機会にも活用してまいりたいと考えております。

説明は、以上でございます。

(明神会長)

ただいま、事務局から、市民説明会についてご説明いただきましたが、各委員から質問などはございますか。

(なし)

8月5日の土曜日の開催となりますが、事前申込みは不要とのことですので、ご都合のつく方は、ご参加いただければと思います。

また、パネリストを務められる委員におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) その他

(明神会長)

最後に、(3) その他について、委員の皆様から何かありませんか。

よろしければ、私から一つ提案したいと思います。

本日をもって、専門部会を含めた延べ12回に及んだ行政審議会での審議を終えることとなります。

長期間にわたり、非常に活発なご意見をいただきまいましたので、最後に、各委員から一言ずつ、ご挨拶をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(了承)

はじめに、新田副会長からお願いいたします。

(新田副会長)

まず、この先の10年間について、このようにいろいろとあり方を出し合って考えることは、めったにない経験でした。振り返ってみれば、私が学生時代やもっと小さい頃は、もう少し将来に対する考えが冷めていたり、10年後のあるべき姿を語るような機会もなかったと思います。そういう意味では、新しい総合計画の策定に関する市民参加の取組によって、いろいろな世代が、いろいろな立場で、10年後の江別市について、本気に、真面目に語り合ったということは貴重な経験になったと思います。また、この計画の内容もそうですが、策定に関わった方、ここにお集まりの委員も、普段なかなか考える機会がないことを真剣に議論したことは、計画の内容に加えて、議論した経験そのものも、とても勉強になり、これからにつながる経験になったのではないかと思います。

やり方そのものも、私にとって、とても勉強になりましたし、いろいろなことを考えることができました。

審議を終えた計画案は、今後の江別市のあるべき方向が示され、納得いく形になったと思っております。

これからは、実際に、江別市をこの計画が示す方向に近づけていかなければならないことを、一人ひとりの胸に留めて努力してまいりたいと、改めて感じた次第です。

どうもありがとうございました。

(井上委員)

いろいろ、思いつきで長々と発言してしまい、皆さんにご迷惑をおかけしたと思っております。申し訳ございません。

様々な議論をしてきましたが、全国のいろいろな市町村を見渡してみますと、江別市と同じような条件、同じような状況のところは、いくつかあると思います。そうしたところと比較しますと、江別市は、まだポテンシャルがあって、いろいろなことができるのでは

ないかと考えています。

今回、新たな総合計画の素案として、いろいろな政策が盛り込まれましたが、一つでも実現して、未来につながるようにしていただきたいと思います。これまでの江別市の諸計画の内容や、それに係る実行などに対する不満も結構ありますが、そうした不満を持つ方は、市内にたくさんいらっしゃると思います。そうした方の不満を解消していくことも、心に留めてほしいと思います。そして、江別市が発展していくことをお祈り申し上げて、挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(竹田委員)

私は、札幌市に住んでいるので、江別市について、まだ理解していないことが多かったのですが、今回の審議会を通じて、勤務地のあるこの江別市について勉強する機会をいただき、良さを再発見しました。

私は、教育や子ども、スポーツといった分野で、今後もいろいろと考えていきたいと思いますが、この審議会でお役に立てなかった部分も多いと思っておりますので、江別市のことを考えながら、地元の教育、大学での教育活動などを通じてお役に立っていきたいと思います。引き続き、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

(村瀬委員)

委員交代により、途中から参加いたしました。この計画を見て、すばらしいと思いました。

この計画が、市の最上位計画となるわけですから、ぜひ、実現できるように、私ども自治会を巻き込んでいただければ、いろいろな部分で協力できると考えています。

この構想を語るには、少し具体的すぎるかもしれませんが、例えば、デジタル化が戦略5に入っていますが、自治会の立場からすると、私も含めて高齢者が一番苦手なのが、デジタルです。高齢者は、デジタルと聞いただけで、アレルギーを起こしてしまいます。

それでも、ガラケーからスマホに変えるなど、一生懸命努力している方もいらっしゃいます。私も数年前に、スマホに変えましたが、恐らく、スマホが持つ機能の5分の1ぐらいしか使えていない状態ではないかと思えます。したがって、IT化、デジタル化を実現するためには、例えば、市がスマホ教室を自治会向けに、これでもかと頻繁に開催するなど、具体的に取り組んでいただければ良いと思います。

次に、やはり、人口減少対策が重要だと思います。人口が減少すると、まちの活気がなくなり、市の財政が厳しくなります。そこで、例えば、江別市には東と西にインターチェンジがありますが、あの周辺を見ている限りでは、まだ開発して企業誘致ができるのではないかと思います。

それから、最近、よく話題になっていますが、千歳市に建設されるラピダスの半導体工場です。周辺自治体に関連産業をベルト状に集積させるために、千歳市はもちろん、苫小牧市や石狩市など近隣自治体で協議会を作るといった記事が新聞に載っていました。ところが、残念ながら、江別市は入っていません。今、新千歳空港から石狩湾新港までの道路が、近々完成すると思いますので、江別市もこれからでもいいので、そういうところに手を挙げて、企業誘致につなげるなどの取組が必要だと感じています。

ありがとうございました。

(岡委員)

このような会議に、子育て支援団体としてお招きいただき、発言までさせていただき、大変感謝しています。

先ほど、ご高齢の方はデジタルが苦手だというお話がありましたが、誰一人取り残さないように取組を進めてほしいと思います。そして、多くの市民を巻き込んで、このような

まちづくりの会議をもっと開催してほしいと思います。私は、この審議会に参加させていただいて、まちづくりについて議論したことを、ほかの知り合いにも伝えたいと思います。

そうすることで、多くの市民が市政に参加できるような江別市になってほしいと思います。

本当にありがとうございました。お世話になりました。

(春日委員)

道央農業協同組合からの参加ということで、会議では、どうしても農業の意見が多くなってしまったと思います。その点については、申し訳ありませんでした。

本来であれば、もっと包括的な、いろいろな視点から意見を言うべきところを、少し農業に寄りすぎたことは、立場ゆえの発言であることを、ご容赦いただきたいと思います。

農業者は、江別市を形作っている農地を維持するというプライドを持ち、営農に励んでいます。これからも、そういった思いの中で、江別市が続く限り、農業者はそこにあり続けて、皆さんにいろいろな生産物を提供すると思います。

日頃から、農協の職員に言っていることですが、皆さんも、スーパーなどを利用するときは、まずは江別産のものを手に取っていただきたい。そして、江別産がなければ北海道産のもの、北海道産のものがなければ国産のものを、ぜひ手に取っていただいて、この江別市から日本全体を盛り上げていただきたいと思います。

延べ12回にわたる会議、本当にありがとうございました。

(鎌田委員)

私は、えべつの未来づくりミーティングから参加させていただきました。その時には、私は生まれも育ちも江別市ですので、江別市に対する私個人の思いをお話しさせていただいたのですが、この審議会に参加させていただいて、この計画が、本当に壮大なものだということを改めて実感し、とても緊張しました。

議論の中でお役に立てたか分かりませんが、本当に良い勉強になったと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

(前田委員)

私は、委員交代で、最後3回の参加でした。なかなか発言ができず、申し訳ありませんでした。

私は、江別市で育ち、その後、札幌市に移り住んで、十数年前に、親の近くであるこの江別市に戻ってきました。状況的には、札幌市に住んでいた時と、今の江別市を比較してしまいましたが、やはり、江別市に戻ってきて良かったと思っています。勤務先も江別市内ですので、これからも江別市のために自分が役に立てることがあれば、少しでも頑張っていきたいと思います。

今回、このような経験をさせていただき、本当に勉強になりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

(清水委員)

現行の第6次総合計画を策定した時に、私たちの先輩が参加しており、その先輩から、行政審議会はとても勉強になると聞きまして、今回参加させていただきました。

江別青年会議所は、若者の視点からまちの課題に取り組んで、まちを少しでも良くしようという団体ですので、日頃から江別市についてよく話をしますが、改めて、このように様々な視点からまとめられた資料を見る機会はなかなかなく、統計的にまとめられていて、勉強になりました。

江別青年会議所のメンバーも、資料を見て、江別市の課題はここにあるということをよく話し合いましたので、第7次総合計画を策定する過程に携わることができて良かったと

思っています。

また、策定する過程は見てきましたが、これから、市民の皆さんにどう伝えていくのが最も重要だと思います。せっかく作ったものが、作りっぱなしになっては全く意味がありませんし、計画を作った後に、この計画がどうなったのかという検証が大事だと思います。私たちも、今回の計画が市民にどう浸透して、江別市がどうなったかということ、責任を持って今後10年間、見ていかなければならないと思いました。

審議は今日で終わりますが、引き続き、江別市に住む一市民として、見守っていきたいと思います。

ありがとうございました。またよろしく申し上げます。

(成田委員)

長かったような、短かったような、ほっとしたような、少し寂しいような、いろいろな思いがあります。

先ほどもお話がありましたが、この計画を策定しただけではなく、これを実行して、将来都市像を実現していくことが大事だと思います。

仕事上の立場としては、協働のまちづくりの推進のために、まい進していきたく思いますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

(西村委員)

この総合計画に対する提言は何一つできず、申し訳ないと思っていますが、本当に勉強になりました。市役所が、どのような仕事をしているか、よく分かりました。

ただ、私は、以前から、デジタル化をはじめ、世の中の便利さを追求していくことが、我々人間にとって本当に幸せなのだろうかと思っています。便利さを求めた先にあるものが、皆さんの幸せにつながるのか、議論の中では見えませんでしたので、それが不満と言えば不満でした。

(星委員)

私は、市内で環境教育に関わっており、今年の6月に、江別市がゼロカーボンシティ宣言をされたことが、とてもうれしく思いました。この審議会では、次代を担う子どもたちのために、環境も含めて、江別市をどのようなまちにしていっていいのか、考えさせていただきました。答申書にも、様々な提言が盛り込まれていますが、住みやすく、環境も守られているこの江別市が、今後も住み良いまちであってほしいと、皆さんが願われていると思います。

担当課の職員の方も気持ちがとても強く、毎回このような資料を作っていただき、本当にひしひしと、江別市に対する思いをこの審議会で感じることができました。

本当に、延べ12回の会議で勉強させていただきまして、ありがとうございました。

(山崎委員)

私も、井上委員と同様に、江別市は独自の部分を出していった方がいいと、常日頃思っていました。ですが、総合計画として、いろいろな分野で取り組む内容を示さなければならないという部分があり、職員の皆さんも大変だったと思います。

そのような中、私が個人的にうれしかったのが、これからは担う子どもたちを中心に据えて、子どもが主役のまちをつくると、具体的にえべつ未来戦略に掲げられたことです。

私自身としては、今後は、江別市独自の部分に関して、観光やデザイン、イベントという部分で盛り上げられるように頑張っていきたいと思っています。

(小野秀司委員)

いろいろと思いつきで発言をして本当にご迷惑おかけしました。私は、発言する時には、公募委員の小野ですと、必ず言ってきました。私は、以前、新聞記者をしており、江別市

内で働いたことはありませんでしたが、いろいろと転勤する中で、行政の取組や、このような会議の取材もしてきました。そして、3年前に定年退職しまして、時間がたっぷりでき、家庭菜園や野幌森林公園を歩くだけでは時間もまだまだ余っていると思ったところで、行政の審議会の委員席に座ってみたい、自分でもまちづくりに対する意見を話してみたいと思い、公募委員に応募しました。

いざ、これまでの審議内容を振り返ると、行政の計画は、各部署から出てきたものをうまくまとめて、前例などを踏まえて作り上げるものと思っていたのですが、先ほど会長からのお話にもありましたが、中身の濃い議論ができたと思いました。

いずれにしても、この計画は、市の、そして市民のための計画であり、行政にしっかりと遂行してもらおう計画だと思いますので、策定後は、しっかりと魂を入れる作業をお願いしたいと思います。

(小野豊勝委員)

私は、10年ほど前に、室蘭市から江別市に引っ越してきました。そのため、江別市のことをあまり知らない状態でしたが、自治会を通じて、様々な江別市の取組に関わることができました。また、地域包括支援センターのもとで、介護予防サポーターを務めており、えべつ未来づくりミーティングに参加したことをきっかけに、公募委員に応募しました。

個人的には、自治会というのは、そこで暮らす人たちの寄りどころ、核になる部分だと思っています。そのため、例えば、市民説明会でも、自治会を通じて説明することが、広く市民に伝わるのではないかと思います。

そのため、市の未来を語る計画には、自治会のことがしっかりと盛り込まれていればいいと思っておりましたが、協働・共生の政策や、自治会に関する取組をはじめとして、幅広い分野をしっかりと網羅されていますので、満足のいく計画であると思います。

現在、私は、子どもたちの朝の交通指導もしていますが、子どもはとても元気です。明るくて元気をもらえます。10年後となれば、私は生きていられるかわかりませんが、このまま子どもたちがすくすくと、この江別市で育っていける環境であれば、何も申し上げることはありません。この会議に参加して、そのように感じました。

(本山委員)

私は道外出身で、大学入学を機に江別市に住み始めて3年目になります。江別市のごことは、本当に何も知らない状況でしたが、知識もなく経験もない立場で、こういう場に参加できることや、江別市の大学連携事業である「ジモ×ガク」に参加できることに対して、本当に感謝申し上げます。

皆様の、多方面からのご意見を聞くことができ、とても勉強になりました。

今後、私が、江別市に定住するのか、それとも転出してしまうのかは、まだ分からないのですが、今後とも、何かの形で、関わることができたらいいなと、改めて感じる事ができました。

今後とも、江別市、皆さんと、つながっていけたらいいなと思います。

ありがとうございました。

(明神会長)

皆さんには、本当に活発なご意見をいただき、答申にたどり着くことができました。本当にありがとうございました。

事務局の皆さんも、資料作成にご尽力いただきまして、本当にありがとうございました。

私は、神戸の人間で、こちらに単身赴任しており、8年目となりました。そんな私が、このような審議会の会長を務めてもいいのだろうかと思っておりましたが、雪が降らないと調子が良くなれないというような、すっかり雪国の人間になっております。雪国の人は、雪下ろしもあって、雪自体は大変厄介なものだと思われそうですが、私は、雪景色はとても美しいと思います。朝晩きらきら光って、ダイヤモンドダストも見たりすることができます。

また、野幌森林公園が大好きで、春夏秋冬行っていますが、紅葉の時などすごくきれいです。

これほど自然が豊かで、生活が便利なところはあまりないと思います。スーパーも映画館も近くにあり、吹雪いていても、出掛けて帰って来ることができるなど、神戸市よりも便利だと思います。生活の場としては、大変優れていると思います。そのようなことで子育て世帯の方が集まって来るのだと思います。

今回、「幸せが未来へつづくまち」という、将来都市像が示されました。「幸せ」とは何か、どういうことかを考えると、恐らく、市民の方がそれぞれ自分事と思って、何かに関わって参加している状態のことだと思います。そこで、皆さんから感謝いただけるとか、お互いに感謝し合うなど、特に高齢者で言いますと、自分の役割や活躍する場があるということが、その方の幸せにつながってくるのではないかと思います。

私自身も元気をもらうという意味では、朝8時前の通勤の際に、子どもが元気に登校している姿を見ると、元気をもらいますし、春になると、雪が解けて一斉に皆さんが庭に花をたくさん植えて、まちに彩りを加えてくれています。私は、この花にも元気をもらっています。

そのような意味で、自然豊かで、子どもたちも元気いっぱいな良いまちですので、先ほど村瀬委員もおっしゃっていましたが、ぜひ、皆さんも、自分事と思ってもらえるように、それぞれの場で市民を巻き込んでいただいて、一緒に良いまちを作っていくということに、ご尽力いただきたいと思います。

長い間、ありがとうございました。

5 閉会

(明神会長)

それでは、本日予定していた議事は、全て終了いたしました。

以上をもちまして、第8回江別市行政審議会を閉会いたします。